

富山市科学博物館研究報告第38号, pp. 129–130 ; (2014)

短 報

富山県のガロアムシ類の記録追加と訂正 *

市川 顕彦¹⁾, 澤田 研太²⁾, 後藤 優介³⁾, 根来 尚⁴⁾

¹⁾ 日本直翅類学会

551-0012 大阪市大正区平尾4-17-13 北代ビル310: 自宅

²⁾ 富山県動物生態研究会

930-0116 富山市追分茶屋90-1: 自宅

³⁾ 立山カルデラ砂防博物館

930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68

⁴⁾ 富山市科学博物館

939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

Two additions and a correction to the Grylloblattodea fauna of Toyama Prefecture

Akihiko Ichikawa, Kenta Sawada, Yusuke Goto
and Hisashi Negoro

先報（根来他，2013）で，富山県からガロアムシ類の採集記録を報告したが，その後既報告個体とは異なる種と思われる追加個体が得られたことから，追加個体と併せて既報告個体の再同定も行った．その結果，新たな種の確認と共に，同定の誤りが判明したので報告する．

ガロアムシの一種 *Galloisiana* sp. 1

1 ♂，富山市有峰大多和峠（標高1300 m），2013年6月4日，採集：澤田研太（本標本は富山市科学博物館で保管される）

体長：18 mm，前胸背：長さ／幅＝1.18，尾毛？節（中間節以後欠損），触角：37節

本個体はガロアムシの小型個体の可能性もあるが，長野県西部並びに飛騨地方では，ヒメガロアムシ，オオガロアムシの他では模式産地である栃木県日光のガロアムシ（*G. nipponensis*）よりも平均サイズが小型の個体群が分布しており，そのサイズがほぼ安定しているとみられることから，現状ではこの未記載の種と考えるのが妥当であろう．



図1 ガロアムシの一種♂



図2 同 頭部・前胸部

ガロアムシの一種 *Galloisiana* sp. 2

1 幼虫（♂），立山町千寿ヶ原 立山カルデラ砂防博物館（標高475 m）（本標本はカルデラ砂防博物館で保管される）

体長 20 mm，前胸背：長さ／幅＝1.13，尾毛9節（中間節以後欠損しているがその部分は粘着剤中に存在），触角：51節，おそらく終令幼虫．

本個体は，立山カルデラ砂防博物館の駐車場から館内へ入る通路の荷解き室シャッター横に設置（2013年11月22日～12月19日）した粘着型害虫捕獲器に捕獲されたもので，12月19日の確認時には既に乾燥が進んでおり，数日以上前に捕獲されたものと思われた．駐車場の裏手がすぐ山で湿度の高いスギ林があるため，そこから侵入したものと考えられる．本個体は，オオガロアムシ（*G. kiyosawai*）もしくはその近似種の終令幼虫と考えられるが，オオガロアムシの模式産地である岐阜県平湯温泉の個体より小型のように思われるので，中部地方で得られている未記載の種と考えるのが妥当であろう．

* 富山市科学博物館研究業績第468号



図3 ガロアムシの一種(粘着型害虫捕獲器に捕獲された個体)



図4 同 頭部・前胸部

ヒメガロアムシ *Galloisiana yuasai* Asahina, 1959

1♂, 富山市有峰真川下流, 2012年11月1日, 採集:
澤田研太, 後藤優介

体長: 14 mm, 前胸背: 長さ/幅=1.12 (体長・前胸背共にアルコール中保存時測定. 乾燥標本作成時に縮んだ.), 尾毛9節, 触角33+?節(末節部欠損)

1♀, 富山市八尾町白木峰, 2000年9月10日, 採集:
北村征三郎

体長: 17 mm, 前胸背: 長さ/幅=1.13, 尾毛9節, 触角35節

上記既報告2個体は, 共にガロアムシ (*Galloisiana nipponensis*) の小型個体と同定された個体であるが, サイズがヒメガロアムシの模式産地である長野県徳本峠などの信州西部から近畿北部に分布するヒメガロアムシの大きさとはほぼ一致し, 眼の発達程度も他地域のヒメガロアムシと同程度であること, また淡い体色等からヒメガロアムシと判断されるので上記のように訂正する.



図5 ヒメガロアムシ♂



図6 同 頭部・前胸部



図7 ヒメガロアムシ♀



図8 同 頭部・前胸部

文献

根来 尚・澤田研太・後藤優介, 2013. 富山市科学博物館収蔵のガロアムシ類. 富山市科学博物館研究報告, 37: 107-108.